

平成 27 年度 2 次試験 再現答案 事例 I

<p>第1問</p>	<p>特徴は、①少子高齢化社会を目前に控えた我が国で市場が徐々に伸長するという機会がある事、②シニア向け事業で培ってきた知識・経験、それに関わる地元自治体や大学等とのネットワークが活用出来る事、である。</p>
<p>第2問</p>	<p>理由は、①事業に関する考え方そのものが異なっていた為、新たな組織を構築し、新たな組織文化の醸成を図ったから、②技術の高度化や営業方法等が違う為、専門性の強化や責任と権限を一致させ委譲し意思決定のスピードの向上させる等の組織構造の構築を図ったから。</p>
<p>第3問</p>	<p>課題は、①売上の過半数を占める為、競合や代替品等の出現による経営環境の変化に対応し経営を安定できる様、次なる成長戦略を行う（模索する）事、②利益率が低い為、技術の高度化や特許戦略の強化を図り収益性の向上を行う事、である。</p>
<p>第4問</p>	<p>理由は、①正規社員として長期的に雇用し給与や昇進等を年功ベースで行う事により、安心を与えモラル向上を図る為、②短期的な業績の向上ではなく（長期的な業績を向上させる）能力向上を図る為、である。</p>
<p>第5問</p>	<p>留意点は、健康ソリューション事業部全体の共通目的を設定、共有化し事業部の交流を充実させ貢献意欲を高め組織文化の変更を行い、公平性、透明性、納得性を高めた業績の評価・表彰等を行いモラルを高め人材育成を行う事。</p>

平成 27 年度 2 次試験 再現答案 事例Ⅱ

<p>第1問(設問1)</p>	<p>ターゲットは、①人口が増加する30～40歳とその子供である(10歳までの)乳幼児の家族であり、②工場街跡地に高価格で販売される高層マンションを購入した人々や地価の値上がりで売却された土地・建物を購入して転居してきた富裕層。</p>
<p>第1問(設問2)</p>	<p>業種は、環境の変化に合わせて、乳幼児の育児・預かりサービス、教育サービス、診療サービス、である。</p>
<p>第1問(設問3)</p>	<p>戦略は、乳幼児連れの家族に、安心安全のこだわりの食事を、子供が汚したりさわいでも良い空間で提供する事。</p>
<p>第2問</p>	<p>(a) 食器店 (b) 売上向上策は、低価格品ではなくこだわりの商品を販売し集客力している物産市の顧客とフィットさせる品揃えにすべき。具体的には、こだわりの商品に合う高級感のある食器や子供が使っても割れない高付加価値の食器だ。</p>
<p>第3問(設問1)</p>	<p>B商店街は、高価格志向のこだわりの農産物や加工品を扱う食品小売店を誘致すべきである。戦略は、30～40歳の夫婦やその乳幼児に安心・安全でこだわりの農産物や手間をかけずすぐに食せる加工品を提供する事。</p>
<p>第3問(設問2)</p>	<p>新規イベントは、子供連れでも楽しめる安心・安全の食品の食育教室を行うべきである。期待される効果は、顧客と店主・店員が顔見知りとなり親しく会話できる状態になる事で、地域への貢献意欲の向上と売上向上である。</p>

平成 27 年度 2 次試験 再現答案 事例Ⅲ

<p>第1問(設問1)</p>	<p>強みは、生産能力を増強させた鋳造工程に加え機械・塗装工程を持つ一貫生産体制がある事。 強みは、鋳造技術に精通した中堅エンジニアを選抜した営業部に新市場を開拓する営業力がある事。</p>
<p>第1問(設問2)</p>	<p>メリットは、①取引先の分散化や受注量の増加により売上高が向上し経営の安定化が図れる事、②最新の自動車部品のノウハウを吸収する事で、部品の顧客からの軽量化、複雑形状化要求に応え、鋳造技術の向上が図れる事。</p>
<p>第1問(設問3)</p>	<p>改善策は、①担当者を決め顧客納期を段取り回数最小の基準に加え、全体の工程の加工順を考慮し生産計画を立案する事、②仕掛品の削減や整理により空間を確保し製品の移動や作業の設備間の移動の問題解決を図る事。</p>
<p>第2問</p>	<p>問題点は、機械加工工程がネックとなり日常的に残業が生じコストが増大している事。改善策は、刃物等交換の短縮化や段取り作業の外段取り化で停止を削減し、作業員の教育・訓練で製品脱着作業の精度向上し空転を削減する。</p>
<p>第3問</p>	<p>C社は、受注処理から生産管理までの情報をデータベース化して一元化・共有化を行い顧客納期が守れるよう納期管理を行うべきである。活用する情報は、①営業部で得ている顧客情報、②生産管理・統制の情報、③新規受注の顧客の情報や図面等仕様書の情報である。</p>
<p>第4問</p>	<p>強化点は、鋳造工程の技術力を継承する人材を育成する点である。理由は、①市場の中小鋳造工場が減少している為、需要が増加する機会があるから、②農業・産業機械部品の受注量は増加傾向にあり鋳造技術の向上が求められるニーズがあるから、③作業環境が影響し若手人材確保が難しく高齢化が進んでいるから。</p>

平成 27 年度 2 次試験 再現答案 事例Ⅳ

第1問(設問1)①	有形固定資産 5.00回
第1問(設問1)②	売上高営業利益率 2.79%
第1問(設問1)③	自己資本比率 22.12%
第1問(設問2)	特徴は、売上に有形固定資産が貢献している為、効率性は高いが（・・・販管費か何か書きました）が高く収益性が低く自己資本が少なく財務の安全性が悪い事。
第2問(設問1)	売上高 1,935 売上原価 1,695 売上総利益 240 販管費 300 営業損益-60 経常損益-71 税前純損益-71 法人税等 0 当期純損益-71
第2問(設問2) (a)	(a) 傾向は、(受注減少) → (売上減少) → (?) により、赤字化する事。
第2問(設問2) (b)	(b) 原因は、売上高の減少にともない変動費や固定費の削減ができず、営業レバレッジが高い為、損益分岐点が高く安全余裕率が低い為。
第2問(設問3) (1)	(a) 2241百万円 (b) ①変動費の算出式②固定費+達成金額の算出式③公式
第2問(設問3) (2)	(a) 1734百万円 (b) (再現できませんでした)
第3問(設問1) ケース1	19百万円 24百万円 24百万円
第3問(設問1) ケース2	問題の意味が分からなく時間もなかったなのでケース1と同じ解答をしました。 19百万円 24百万円 24百万円

第3問(設問2)	Z: 35. 1百万円 E: 適当に書きました (Zよりも大きい数字) ??百万円 ○
第3問(設問3)	プロジェクトZは、投資額が少ない為、リスクは低いがリターンも低い。 プロジェクトEは、投資額が高くリスクは高いがリターンも大きく収益性が高い。
第4問(設問1)	デメリットは、売上高を依存する事により経営の安定性が低くなる事。
第4問(設問2)	意義は、売上高の分散化が図れ経営の安定性が高まる事である。